

バッグ補修用に新機械を導入

補色品質高め修理精度が向上

白牡丹

の要望に応える。

機械は広範囲・狭い範囲の両方に対応可能なスプレーガンで、コンプレッサーも同時にそろえたほか、塗装のためのブースも確保した。機械導入は、従来と比較してマスキング作業に時間が掛かり、必ずしも作業時間短縮につながらない。しかし手塗りよりも色むらなどの違和感が生じにくく、補色の精度が高まる。

補色修理で最も困難な作業は調色(部品の色に合わせて顔料を調整する作業)であり、経験と色彩感覚が問われる。「機械を入れて補色修理を行う業者は少ないが、当店はお客さまの選択肢を増やしたいこともあり、補色修理を実施し

ブランドバッグなどの修理を行う鞆工房白牡丹(福山市今町4-22、高田寛之代表)は8月から、本革部品などの補色修理用に専用の機械を導入した。本革は素材や持ち主の使用方法で一点一点修理方法が変わり、対応が難しいが、同社は修理の精度をより高めて、顧客

「ブランドバッグなどの修理を行う鞆工房白牡丹(福山市今町4-22、高田寛之代表)は8月から、本革部品などの補色修理用に専用の機械を導入した。本革は素材や持ち主の使用方法で一点一点修理方法が変わり、対応が難しいが、同社は修理の精度をより高めて、顧客

ている。補色する方が安価な場合もある」と高田代表は語る。

素材の色と補色する顔料の色が一致したつもりでも、乾燥後肉眼で確認すると微妙な違和感が出ることもある。そのため調色には細心の注意を払っており、ときには一滴単位で調整する。

革部品一つでも修理の方法は多様で、縫製の糸を全て抜いて色を塗り直すこともあれば、皮を張り替えることもある。修理に要する期間はさまざまだが、簡単なものは1週間、手間が掛かり難しいもので最大で3カ月待ちが目安となる。また一つの品で複数の修理方法を提案できるようにするため、例えばエルメスのバッグ用の糸は全色を取りそろえて



いる。

修理の問い合わせは福山市を中心とした備後圏域が多いが、最近ではインターネットを通じた問い合わせも増加。遠くは宮城県から修理の依頼があつたという。一つ二つ修理方法が違う思い入れのある品に、金額も合わせて満足してもらえよう事前の打ち合わせを綿密に行い、顧客満足度の高い修理を目指している。

問い合わせTEL084・983・371
1白牡丹

ププレひまわり
福山で手城店オープン
生活必需品そろって便利さ提供

(株)ププレひまわり(福山市西新涯町2-10-11、梶原秀樹社長)は10月13日、国道2号線の南の同市手城町31-18に「スーパードラッグひまわり手城店」をオープンした。営業時間は9時から22時。同社112店舗目となる。

同店は売り場面積860㎡。医薬品や化粧品、日用雑貨に加えて食品、酒類、弁当や総菜まで幅広い商品をそろえる。駐車場は30台分となる。

同店は生活道路沿いの住宅地に立地し、周辺は夜遅くまで営業するドラッグストアはないのが特色。食品や日用品など豊富な生活必需品を持ち味に、1カ

11月25日開催決定

全国仮装大会inおのみち

9月29、30日に開催予定だった「全国仮装大会inおのみち2018」が、11月25日(日)、尾道本通り商店街を中心に開催されることが決まった。

11時から仮装パレード、12時から長江口のゆとりの広場を会場に仮装コンテストが開催される。

毎年、参加者や観客も増え続けている同大会は、今年で7回目を迎える。昨年は15万人の人出でにぎわった。

問い合わせは0848・36・5495

所で日常の買い物も済ませられる利便性を提供し、利用客の取り込みを図る。